

編集後記

アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル (AJJ) 第 7 号は、実践報告 2 編、調査報告 2 編の計 4 編の掲載となった。2014 年の総会で研究論文・展望論文・研究ノートの 3 カテゴリーが廃止となり、実践報告・調査報告・書評・短信の 4 カテゴリーが存続している。カテゴリーは減ったものの、AJG の特徴である、実践や調査にもとづく知見をすばやく共有する速報性は、十分に発揮されているのではないだろうか。4 編の内容も、AJG の十八番ともいえるレポート・ライティングのみならず、PC 入力、文語文学習と多岐にわたり、多様性も同時に保たれている。会員の皆様には、今後もぜひ日々の実践や考察の成果を、AJJ に投稿していただきたい。

(編集委員 Y.O.記)

刊行：2015 年 7 月

編集委員* (**は編集長)・アドバイザー (AJG 幹事および協力者・五十音順)

- * * 大島弥生 (東京海洋大学)・* 大野早苗 (順天堂大学)・* 影山陽子 (日本女子体育大学)・
* 田中信之 (富山大学)・中尾桂子 (大妻女子大学短期大学部)・
- * ボイクマン総子 (東京大学)・茂住和世 (東京情報大学)・吉田美登利 (東京工業大学)